

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-8	
PDCA	主要事業名	墓地管理事業	部課名	市民経済部環境課	担当	森下	
					内線	21-4001	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 22,005 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.03.02.01					目標項目（予算計上時に作成）	
	事業概要等	事業概要： 墓地、埋葬等に関する法律に基づき、市内6か所の墓地が故人を偲ぶ場として、墓参者、近隣住民に快適な施設となるよう適切な維持管理を行う。					
		事業目的： 墓地、埋葬等に関する法律により、墓地の経営は地方公共団体が行うものとされており、市として、墓参者、近隣住民に配慮した墓地となるよう必要な維持管理を行う。					
		事業内容： お墓に対する意識の変化や無縁化など、市営墓地の管理運営上の課題に対応するため、令和2年度に「半田市墓地管理計画」を策定した。計画で示された基本方針に沿って、墓地の適正管理や管理料徴収に向けた区画使用者の確認に取り組む。					
		問題点・課題等： 近年の少子高齢化やライフスタイルの変化に伴い、墓地に対する考え方も変わってきており、そのあり方や管理方法について検討する必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	22,005 千円	令和2年度に策定した「半田市墓地管理計画」で、今後、墓地管理料を徴収する方向性が示された。管理料の徴収に向けて、墓地使用者の使用区画の確認などの課題解決に取り組むため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 8,145 千円	無縁化の防止や、墓地管理に係る費用負担の公平化により墓地行政を適正に行うことで、市民が永続的に快適に安心して市営墓地を利用することができる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位		
その他 13,860 千円	墓地使用者が使用区画を確認した割合	実績値	—	—	—	%	
		目標値	—	—	100.0	%	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	19,985 千円	住所の登録がある墓地使用者10,456人に区画使用状況確認の手紙を発送し、10,247人（98%）の墓地使用者に自分の使用区画を確認してもらうことができた。これにより、現在の使用区画約16,000のうち約14,150区画（約88.4%）について、令和6年度から徴収する墓地管理料の徴収対象者を特定できた。					
		成果指標					
			令和4年度	単位			
	墓地使用者が使用区画を確認した割合	実績値	98.0	%			
		目標値	100.0	%			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B					
		以前から課題となっていた墓地管理料について制度設計及び条例改正を行い、令和6年度から管理料を徴収する体制を整えることができた。また、これまで行ってきた戸籍調査や墓地区画への置手紙などによる使用者調査により、全使用区画のうち9割弱まで使用者の把握（管理料の徴収対象者の特定）ができていく状況である。今後は、残り1割の区画使用者の特定や、無縁となった区画（お墓）の処理が課題である。					
A 今課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進					
		令和6年度からの管理料徴収に向けて、墓地使用者への周知や関連システムの改修、各種帳票作成などの準備を行う。また、（現在も徴収している）墓地使用料及び管理料を財源として、墓参者が市営墓地をより安心・快適に利用できるよう施設の維持管理及び整備を進めるとともに、無縁となった区画（お墓）の無縁改葬処理に取り組む。					
		必要性		有効性		効率性	
観点別評価	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ある	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用